

平成29年度 第4回 倫理審査委員会の記録概要

開催日時：平成30年3月27日(火) 16:30～16:50

開催場所：独立行政法人国立病院機構菊池病院 会議室

出席委員名：本田臨床研究部長、幸薬剤科長、大木事務部長、村田看護部長、飯田外部委員、緒方外部委員

審議事項 申請番号 2545

【課題名】 平成29年度国立病院機構共同臨床研究指定研究

「強度行動障害児者に対する専門的治療施設の需要と治療法の標準化及び効果判定に係る検討」

【申請者】 末永主任児童指導員

【概要】 国立病院機構の「動く重症心身障害病棟」においては、強度行動障害を持つ患者が多数入所している。当院の「動く重症心身障害病棟」においても、平成30年2月末時点で入所者80名のうち65名が強度行動障害を呈しており、入所者全体の81.3%を占めている。

強度行動障害を持つ者は在宅支援対象者まで含めると約32,000名ともいわれる。当院での入所希望者は、熊本県のみならず関西在住者も含め平成30年2月末時点で24名である。(熊本地震の影響から現在は入所希望者の受付を保留している)。その背景には、強度行動障害を持つ者の多くは未だ障害福祉サービス事業所の利用が困難で受け入れ先が無いことがあげられ、医療機関かつ障害福祉サービス事業所である国立病院機構の療養介護病棟への入院打診が家族や行政、および入院中の精神科医療機関から行われるケースが多い。福祉施設・事業所では対応できない患者を国立病院機構で受け入れている実態もあり、当院にも地域の強度行動障害対策の中核医療機関としての役割が求められている。

そこで本研究では、当院の「動く重症心身障害病棟」で行われている医療・福祉の状況について多面的に調査し、その果たしている役割と需要、治療効果を客観的データに基づいて示すことで、よりより医療・福祉サービスの提供体制を構築することを目的とした。

【判定】 承認